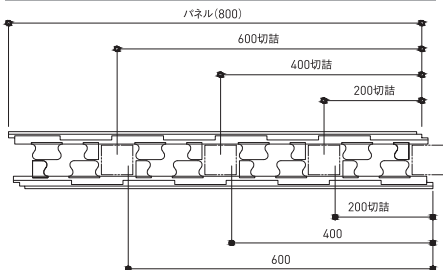


## パネルの200mmピッチ切詰について

施工現場において図のように200mmピッチ間隔でパネル切詰加工をおこなう場合は、端部柱も200mmピッチ間隔で移動してください。  
柱の移動の際、ベース材・横棧・横棧上・PS端部カバー・笠木(PS・アルミ)も切詰加工が必要となります。  
切詰めによる変更追加部材はありません。

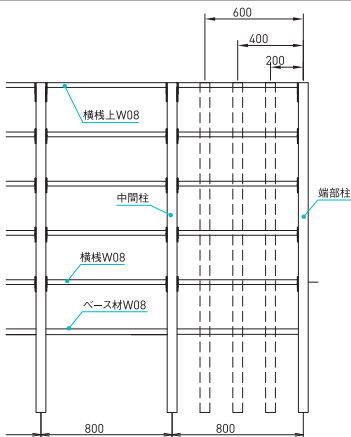
### パネルの切詰



B・D型はフェンス部材も切詰になります。

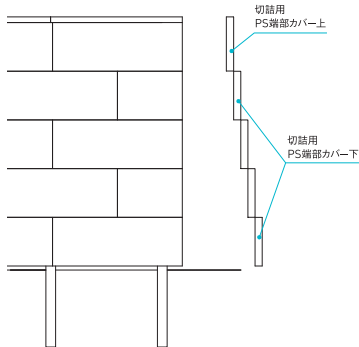
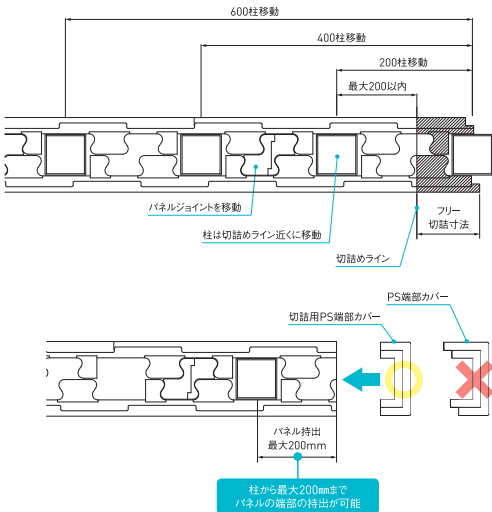
※各部材の詳細な切詰加工内容については取付説明書をご覧ください。

### 端部柱の移動



## パネルのフリー切詰について (A型のみ仕様です。B・C・D型には使用できません。)

パネルをフリーに切詰したい場合は図のように切詰ライン〜柱の寸法を200mm以内にして端部柱・パネルジョイントを移動してください。  
各部材は切詰加工をおこなってください。(ベース材・横棧・横棧上は200mmピッチ切詰、PS・アルミ笠木はパネル切詰寸法と同様)



※このパネルフリー切詰めには切詰PS端部カバー上・下のみ対応可能です。  
切詰側のPS端部カバー上・下と入れ替えて購入してください。  
アルミ端部カバーの設定はありません。